

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

**外部評価の結果**

**事業所名** グループホーム **もろびと**

日付 平成16年5月25日

**評価機関名** 有限会社  
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員  
看護師・大学福祉系講師

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

**講評** 全体を通して(特に良いと思われる点など)

鳥の声、四季の草花など自然豊かな場所にホームはあり、四季の変化を肌で感じることで、入居者にとって何にもかえがたい環境であるように思う。

スタッフは、返事を急がせたりせず、できるだけゆったりとした雰囲気の中で、相手の気持ちを汲み取って、相互に豊かなコミュニケーションを作り上げるように努力している場面があり、相手本位の姿勢がうかがえた。

また、入居者ひとり一人の生活暦から個人の理解と、より良い人間関係の構築に努め、そこから生きがいの追及に向けていきたいという方向性を持っている。

これらの点から管理者の思いがスタッフにきちんと伝わっていることが理解できた。

散歩のとき、声を掛けてくださる人が次第に増えてくるなど、地域の中で温かく見守られるようになったのは、地道な努力によるものだと感じた。

改善の余地があると思われる点  
必要性の理解はあるのだが、実際の薬の管理、服薬の支援についての認識がもう少しのようであり、今後きちんとした知識の習得のため専門家の指導を受けることを望む。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<p>記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>入居者ひとり一人の個性を大切に、また生活暦をよく理解しながら、生きがいの追及をすることでその人らしい生活の援助をしていく。共に生きる楽しみをお互いに大切にしたい生活ができることが一番である。歌を歌いながら施設の中を歩いている人、寡黙な人の手が拍子をとっている。自分が満足するとき、その人の表情に明るさがさし、笑みがこぼれていた。</p>			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<p>記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>ホームの中での自分の居場所づくりを大切にすることで、家庭の中での役割の認識への働きかけなど、お互いが自然体で協力できるような援助ができている。</p>			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<p>記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>その人の過去の人生、環境、生活の歴史を知ることで、個々にあったコミュニケーションの方法を探り「今」をあるがままに受容しようとしている。そのことで穏やかで明るい表情に出会うことができた。全部自分でできなくても、ほんの小さな一部分でも、自分の意思がそこに参加して行うことができればそれでいい。「自分のできることを」を少しでも増やしていくための環境を整えたり、隠れた能力を引き出すために努力する取り組みがみられた。</p>			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<p>記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か、</p> <p>入居者の生活パターンを知ること、発生して来る問題に対して未然に防ぐよう職員間の共通認識がある。人との交流の機会を多く持って、精神を生き生きと活動させ孤独に陥らないよう絶えず刺激を与えることの大切さを管理者が認識し、実行していることで、生活にメリハリができているためか、いい顔をした入居者に多く出会うことができた。</p>			